8. 乳腺腫瘍患者における乳腺症のFDG-PET

宇野 公一 今関 恵子 内田 佳孝
波多野 治 松野 典代 (千葉大・放)
吉川 京燦 (放医研)
今井 康則 (鹿島労災病院・放)

^{18}F-FDG (FDG) を用いたPETで，われわれは乳腺症にFDGが集積することを経験した．実際に乳腺症にFDGが集積するか否かを検討するために，44症例の乳腺腫瘍患者を対象とした．乳腺腫瘍と反対側の乳房を超音波(アロカ社10 MHzプローブ)で正常，中等度，高度の3段階にエコーパターンを分類した．FDGは約148 MBq (4 mCi) 空腹時静注して1時間後に島津ポジトロンカメラで撮像し，12 mm×12 mm ROIを乳房部に設定しDARを求めた．年齢との関係では乳腺症の高度なものほど平均年齢が低かった．またFDG集積は乳腺症の高度なものほど強いことが分かった．したがって乳腺症が高度な症例は乳腺腫瘍の良悪性の鑑別を集積の強さで判定する場合，乳腺症への集積を考慮する必要がある．

9. ^{11}C-メチオニンPETによる肺癌の放射線治療前後の評価

古賀 雅久 安川 朋久 吉川 京燦
吉田 勝哉 (放医研)

10. 腫瘍における^{99m}Tc-MIBIの早期動態について

成尾孝一郎 内山 真幸 守谷 悦男
森 豊 川上 憲司 (慈恵医大・放)

心疾患を伴った悪性腫瘍8例，良性病変2例を対象に，^{99m}Tc-MIBIシンチグラフィを行った．静注直後より15分後まで早期動態画像を撮影し，30分後よりSPECT像撮影を行った．以下の3項目につき検討した．①早期動態画像上初めて病変部が出現する時間．②早期像およびSPECT像におけるT/N ratio．T, Nは病変部，正常領域のcount/pixel．③TACにより病変部早期のclearanceの測定．結果は，悪性腫瘍は，良性疾患に比べ，①で早期に出現，②で早期像，SPECT像ともに高値，③でwashoutが遅延する傾向を認めた．②のT/N ratioは，早期像よりSPECT像の方が，良悪性の差はより明瞭であった．しかし，早期像でも良，悪性の差を認め，^{99m}Tc-MIBIシンチグラフィ早期像は，良性病変，悪性腫瘍鑑別の指標となる可能性が示唆された．今回のstudyでは，良性病変は2例と少なく，今後症例を重ねて検討をする必要があると思われる．

11. ガリウムスキャンにおけるサルコイドーシスの活動性の評価

植田 琢也 宇野 公一 波多野 治
太田 正志 松野 典代 内田 佳孝
(千葉大・放)
今井 康則 (鹿島労災病院・放)

12. 内山 暁君をしのんで

有水 昇 (都立医療技術短大)

13. ^{123}I-BMIPP投与後に心筋血流像が撮像された不安定狭心症の2例

小林 秀樹 松本 延介 日下部きよ子
(東京女子医大・放)
細田 瑳一 (同・循内)

ダイナミックSPECTを用いて，^{123}I-BMIPP心筋像を撮影した．不安定狭心症の2例は，^{123}I-BMIPP投与後2–5分で撮像したSPECT像が，安静時^{201}Tl心筋シンチグラフィに類似した所見を呈した．30分後に撮像したSPECT像では，おのおの左前下行枝領域および左回旋枝領域に，^{123}I-BMIPPの欠損を呈した．

ダイナミックSPECTを用いて，^{123}I-BMIPP投与直後の心筋像を撮像することで，心筋血流イメージの得られる可能性が考えられた．

^{123}I-BMIPP 1回投与による，心筋血流と脂肪酸代謝の同時評価が期待できる．

Presented by Medical*Online